

はりま病院広報誌



第10号

2013年7月 発行

編集発行

特定医療法人社団仙齡会  
はりま病院 広報委員会

## リウマチ治療の進歩

はりま病院 院長 大田 博之



ここ10年ほどで関節リウマチの治療は飛躍的に進歩し、大きく変わってきました。私が医師になった頃には、全身の関節の破壊変形が高度に進んだリウマチ患者さんがたくさんおられましたが、このような患者さんに使用できる治療薬があまりなく、関節の炎症を抑えることすらできないことがよくありました。15年ほど前にメトトレキサートがリウマチの治療に使用されるようになり、なかなかコントロールできなかった活動性の高いリウマチ患者さんもそれなりにコントロールできるようになってきました。その後免疫抑制剤も使用できるようになりましたが、それでもどんどん進行してしまう方がまだまだおられました。

10年ほど前に生物学的製剤と呼ばれる治療薬が登場してから、関節リウマチの治療が劇的に変化しました。単に痛みを取るだけでなく、関節の炎症をなくし、関節破壊を起こさず、さらには寛解状態といわれるような全く病気が治ったのと同じような状態に導入できるようになってきました。

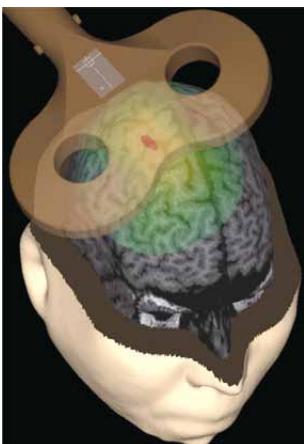
関節リウマチは、発症後2年以内にもっとも関節の破壊が進んでしまうことが報告されるようになり、早期診断が行われるようになり、発症早期から積極的な治療が実施されるようになりました。すべての方が、この生物学的製剤が必要であり、適応となるわけではありませんが、メトトレキサートにてコントロールできない場合には次の治療として推奨されています。ただ、いいことばかりではありません。副作用として、感染症、特に結核の再燃、B型肝炎の再燃、肺炎などが重大なものとして挙げられ、リスクの高い方は使用することができません。さらに一番の問題は、薬剤費が非常に高額であることです。関節破壊が進行して就労や家事に支障が出ることによる将来の損失、関節破壊が防止できることにより通常の日常生活を送ることができることを考えると、非常に高額ですが早期より使用していただきたいお薬です。

当院でも、生物学的製剤による関節リウマチの治療を積極的に行ってていますので、ご希望の方は担当医にご相談ください。

## 整形外科

## 筋電計

医師 岡田 文明



外来などで手足のしびれ、筋力低下などを訴えられる方が主訴として多いのですが、体のどこの神経が原因か、どの程度傷んでいるのか、よくなるのかといったことに対し客観的に評価する方法の一つとして電気生理検査があります。神経は、脳から脊髄、末梢神経、筋肉につながっています。脊髄運動機能評価としては頭部を磁気で刺激し、末梢の筋肉から電位を誘発させます。(MEP: Motor Evoked Potential) また、今まで困難とされていた円錐部から馬尾神経にかけても大型 coil の MEP で評価が可能になりました。また感覚神経については、逆に末梢神経を刺激し頭部で誘発する SEP を測定します。(SEP: Sensory Evoked Potential) 脊髄から出た末梢神経は、運動神経・感覚神経にわかれます。これらの神経を個別に伝導速度をはかります。外来で多い疾患としては手根管症候群ですが、この場合手関節部での伝導障害を証明します。また針筋電図検査とは、直接筋肉に針を刺し、筋線維の電気活動を記録することで、末梢神経や筋肉の疾患の有無を調べる検査です。脊髄にある前角細胞と呼ばれる運動神経以下の運動神経と筋肉の異常を検出するために行われます。これらの検査を組み合わせることで末梢神経から中枢神経の診断・評価を行い、臨床へフィードバックを行っていきます。



①専門 ②出身大学

## 診察医師紹介

③認定医 ④ひと言



今村 史明

①整形外科

- ・変形性膝関節症、
- ・股関節を含む下肢関節
- ・関節リウマチ
- ・人工関節置換術

②兵庫医科大学

③日本整形外科学会認定医・日本整形外科学会認定リウマチ医  
日本リウマチ学会専門医④兵庫医大下肢関節グループで特に膝関節を専門にして  
います。(人工膝関節置換術)

また、関節リウマチを専門としており、薬物療法から手術までトータルで対応しています。  
よろしくお願ひいたします。



楠山一樹

①整形外科

②兵庫医科大学

④4月より水曜日、第2・4土  
曜日の外来担当させて  
いただきます。

地域のみなさまの医療に  
貢献できるようにがんば  
ります。



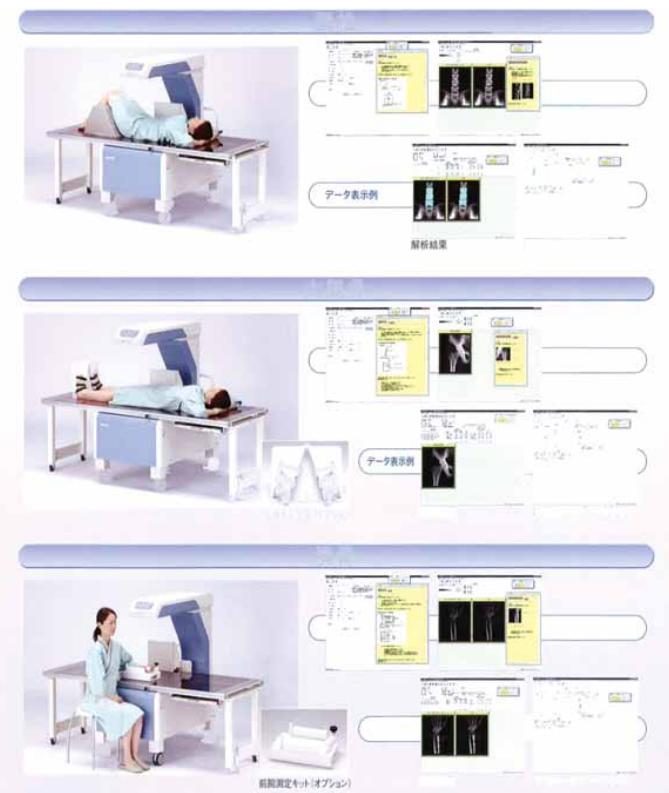
## 整形外科

## 骨塩定量検査(デキサー)

骨に含まれるカルシウムやマグネシウムなどのミネラル成分（骨塩）の量を測定する検査です。

今まででは骨密度を測る方法としてQUS(足のかかとの密度を超音波で測る方法)がありましたが、より正確に骨の状態を知る方法として、DEXA法（高いエネルギーと低いエネルギーのX線を用い、その透過差から正確な骨塩の量を測定する方法）を利用した装置を導入しました。これを用いることにより骨塩の減少を早期に発見し、高齢者の骨折の原因となる骨粗鬆症の正確な診断が可能です。

予防や適切な治療を受けるためにも、一度は検査を受けられることをお勧めします。



## 内科

## 迅速ピロリ菌測定機器POC one

ピロリ菌は胃の中に好んで住みつき、胃の壁を傷つける細菌で1980年代に発見されました。

ピロリ菌感染は胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃炎の原因になり、さらに胃癌の発生に深くかかわっていることがわかっており、実際に胃潰瘍患者の約80%以上が感染者であるとの報告がされています。今まででは特定の胃の病気をすでに発症している状態でないと保険がききませんでしたが2013年2月より、検査および治療についてほぼ保険適用となりました。

この度当院では最も一般的かつ精度の高い検査である、尿素呼気試験法（吐く息）を採用する方法のPOC oneという機器を導入いたしました。

測定原理・方法としては検査薬を服用して15～20分後の呼気を採取し、ピロリ菌が分泌する酵素「ウレアーゼ」の働きによって作られる二酸化炭素の量を調べる方法で、とても簡便な検査です。

院内で素早く検査ができますので、当日の診療で検査結果を聞いて頂くことが可能です。

慢性胃炎や胃痛、胃もたれなどの症状が続く方、胃潰瘍、十二指腸潰瘍と診断された方は、治療や再発を予防するためにピロリ菌の検査・除菌をおこなうことをお勧めいたします。

ピロリ菌の感染診断に有効なデータを



医療機器承認番号: 21600EZ00218000  
分類: 管理医療機器 指定保守管理医療機器  
JANコード: 4987095442417

## 新人(異動)職員紹介

**理学療法士**

とくながかおる  
**徳永薫**



4月からリハビリテーション室で勤務している徳永です。3月に学校を卒業しましたので、理学療法士1年目です。先輩方を見習い、一日も早く一人前のセラピストとなれるよう現在奮闘中です。

前職は神戸や大阪でアロマセラピストとして4年間勤務しておりました。人と話すこと、喜んで頂くことが大好きです。理学療法士としても一人の人間としても「顔を見るとなつとする」と思って頂ける様な存在になりたいと考えています。ご指導よろしくお願ひします。

**准看護師**

みたおきょうこ  
**三田尾香子**



5月より外来でお世話になっています。

慣れない環境で緊張していますが、先輩方の優しく辛抱強い御指導のおかげで楽しく働かせて頂いています。

戸惑う事もありますが正確で丁寧な仕事を心がけていきたい

です。

そして少しでも早く仕事を覚えて皆様のお役に立てたらと思っています。

御迷惑をおかけする事もあると思いますが、御指導よろしくお願ひします。

**准看護師**

おおにしかよこ  
**大西佳代子**



はじめまして。

5月から外来で勤務させていただいている大西佳代子です。

広島からこちらに来て3年になります。

何もわからない時に、受診する病院を探していた時にはひま病院の事を知りました。

家からも近くだったので受診する事に決め、病院に行った時に、職員の皆様の対応や優しさに良い感じを受けました。

今、その病院で自分が働けている事がとてもうれしいです。

初めに自分が感じた気持ちを忘れないように努力したいと思います。

広島弁も時々出るかも知れませんがよろしくお願ひします。

**看護助手**

うしじま  
**牛島いづみ**



5月から、ひま病院のスタッフの一員になって、2ヶ月になろうとしています。

初めての病棟勤務で、毎日が緊張、緊張の連続です。

自分に出来るだろうかと不安な気持ちで一杯でしたが、先輩方に、毎日親切丁寧に指導していただきながら、業務を行なっています。

患者様に対しての気配り、声掛けがとても自然で、一つ一つの動作すべてが勉強になります。少しづつでも先輩に近づいていけるように、努力して頑張りたいと思います。

これからも沢山迷惑かけると思いますが、ご指導よろしくお願ひ致します。

**医事**

やまうちたみこ  
**山内民子**



結婚を機に、こちらで生活して10年あまり経ちました。

こちらの地域にも馴染んできた所に、今回御縁があり、2月25日より、ひま病院でお世話になつてます。

初めは、慣れないのと、日々の感覚で戸惑いましたが、スタッフの皆様のあたたかい指導のお陰で少しづつ環境に慣れてきました。

患者様には、一番初めに関わらせて頂く仕事なので、少しでも分かりやすく丁寧な対応を心がけていきたいです。

御迷惑をおかけする事もあると思いますが、よろしくお願ひします。

**ドック室**

ほつたゆみこ  
**堀田裕美子**



4月より、人間ドック室でお世話になっております。

私は医療の仕事を経験した事がなく、全く知識のない状態からのスタートで、わからない事できない事ばかりの毎日です。先輩方には、ご迷惑をおかけしてしまいますが、人と接する事がとても好きなので、一日でも早く仕事を覚え、少しづつでも自分にできる事を増やしていきたいです。

色々な事を学びながら、一生懸命お仕事させて頂きますので、御指導よろしくお願ひ致します。

**医事**

ながやすまり  
**永安真理**



3月より受付で勤務させていただいている。

初めての受付業務で戸惑うこともあります、先輩方に丁寧にご指導頂き、日々働くことが出来ています。

健康を取り戻しに来られる患者様の不安な思いを少しでも和らげられるよう、心のこもった対応を心掛けたいと思っています。まだまだ学ぶこともたくさんあります、頑張りますので、今後ともよろしくお願ひ致します。